胡弓

LA VIOLE DE GAMBA

ルイ・ベルトラン　Louis Bertrand

青空文庫

こはいかに、紛ふ無き親友ジァン・ガスパル・ドビユロオ、綱渡の一座中世に隠れ無き道化ものゝ蒼ざめ窶れたる姿にあらずや。
惡戯と温順とを浮べたる名状し難き顔色にてこなたを見詰めたり。
テオフィル・ゴオティエ――「オニユウリユス」

月夜の晩に
ピエロオどのよ、
文がやりたい
その筆かしやれ、
明が消えて
見えなくなつた。
後生だから早く
この戸をおあけ。　俗謡

唱歌の長が弓を當てて胡弓の喉を試めしてみると、樂器は忽ち哄笑や顫音のおどけた鳴動をして答へた。伊太利亞狂言がよく消化れずに腹の中にあるのだらう。

まづ始には女目付のバルバラが呟くやう、あのピエロオの拔作め、氣の利かないのも程がある、カサンドル様の假髪の箱を落して、白粉を皆播いて了つたぞ。

そこでカサンドルは大事さうに假髪をお拾ひなさる、アルルカンは粗忽者の尻をいやといふほど蹴飛すと、コロムビイヌは笑ひこけて涙を拭く、ピエロオは厚化粧の苦笑で耳までも口を開いた。

然し間もなく月夜になると、明を消したアルルカンは友達のピエロオに懇願して、ちよいと戸をあけて、火をつけさせてくれろといふ、さては親仁の金箱ぐるみ、娘をつれて驅落するのか。

琴屋の畜生、ヨブ・ハンスめ、こんな絲を賣り居つたなと唱歌の長は小言をいひつつ、埃だらけの箱の内へ埃だらけの胡弓を仕舞つた。絲は切れたのである。

青空文庫情報

底本：「上田敏全訳詩集」岩波文庫、岩波書店
　1962（昭和37）年12月16日第1刷発行
　2010（平成22）年4月21日第38刷改版発行
初出：「アルス　創刊号」
　1915（大正4）年4月
入力：川山隆
校正：岡村和彦
2012年11月2日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

胡弓

LA VIOLE DE GAMBA

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　ルイ・ベルトラン　Louis Bertrand
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/